

医師の負担軽減に資する計画

1 計画の目的

当院に勤務する医師について、他職種との役割分担及び勤務環境の改善事項を明らかにしながら、医師の負担軽減に資する計画を策定しようとするものである。
このことにより、医師、看護師等の医療関係職の各職種が専門性を必要とする業務に専念できるとともに、当院における効率的な業務運営を図りながら、良質な医療サービスを継続的に提供しようとするものである。

2 令和6年2月末現在の勤務医の勤務状況

- 病床規模： 122床 (稼働 122床)
- 常勤医師数： 9名 (週24時間以上勤務する者)
- 常勤医師平均勤務時間週 44.6時間
- 常勤医師超過勤務時間 週 6.0時間
- 常勤医師平均当直回数 月 3.7回

3 本計画に係る実施・評価体制

- ① 責任者の配置
病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関して、医師の勤務状況の把握及びその改善の必要性等について提言することを目的として、院内に責任者を配置する。
- ② 多職種からなる役割分担推進のための委員会の設置
病院勤務医の負担の軽減に資する計画をより実効あるものとするため、院内に多職種からなる役割分担推進のための委員会を設置し、計画の達成状況の評価や勤務医の勤務時間及び当直を含めた夜間の勤務状況の把握(超過勤務時間の時間管理の実施)、特定の個人に業務負担が集中しないよう配慮した勤務体系の策定、計画について職員への周知徹底を図る。
当該委員会において、本計画に係る達成状況の評価等を実施する。

4 負担軽減に資する計画

(1) 医師の勤務環境の改善

項目	取り組み内容	達成状況	
		令和6年3月	令和7年3月
医療クラークの対応業務の拡充	・医療クラークの分掌の見直しを随時実施し、医師事務作業の負担軽減を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 配置の随時見直しにより、医師業務負担の軽減を図る。 R5年度末まで職員数を維持。R6年度も本庁への要望により定数の維持が図られる見込みとなった。	<input type="checkbox"/>
他職種への業務移管	・病院事業運営方針に基づき、他職種への業務移管を推進する。 具体的な業務移管の内容については、別表において定める。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務移管を実施中(詳細は別表のとおり)	<input type="checkbox"/>
医師の複数配置	・診療科ごとに医師が複数配置となるよう、医師募集および関連機関への働きかけを継続する。	<input checked="" type="checkbox"/> 複数化されていた循環器内科は、R4年度中に1名退職により1人体制に戻った。現在、外科以外の診療科は全て常勤医1人体制である。今後とも複数配置診療科となるよう医師確保に取り組む。	<input type="checkbox"/>
連続当直を行わない勤務計画の作成	・連続当直とならないよう、勤務計画の作成を継続する。	<input checked="" type="checkbox"/> 連続当直とならないよう勤務計画を作成する。	<input type="checkbox"/>
当直後の業務免除制度の活用	・1人医師の診療科であって制度の活用が困難な場合は、超過勤務の記入を徹底する。	<input checked="" type="checkbox"/> 1人医師の診療科等、制度の活用が困難な場合は、超過勤務を申請する。	<input type="checkbox"/>

(2) 役割分担の推進

項目	取り組み内容	達成状況	
		令和6年3月	令和7年3月
医師と関係職種との役割分担の推進	・医師の負担の軽減に資するため、医師と関係職種との役割分担について、「医師及び医療関係職種と事務職員等との間の役割分担の推進について」(医政発第1228001号)に基づくほか、当院の実情を勘案して別表のとおり定める。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務移管を実施中(詳細は別表のとおり)	<input type="checkbox"/>

(3) 地域の医療機関等との役割分担の推進

項目	取り組み内容	達成状況	
		令和6年3月	令和7年3月
地域連携(逆紹介)の推進	・地域の医療機関等との役割分担を進め、逆紹介を推進する。	<input checked="" type="checkbox"/> 逆紹介率 令和5年度(2月末) 14.0% ※概ね前年度並みを維持できた。	<input type="checkbox"/>
退院支援の強化	・退院(入院)支援看護師の配置により、地域の医療機関等への円滑な患者紹介を行うとともに、医師及び病棟看護師等の負担の軽減を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 専従看護師やMSWとカンファレンスを積極的に行い、入院早期の退院調整介入により在院日数短縮に努める。 令和5年度(2月末) 16.3日	<input type="checkbox"/>
地域医療福祉連携室の活用	・上記の2項目を円滑に進めるため、地域医療福祉連携室を活用する。	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の医療機関との紹介及び逆紹介には関わっていないが、患者さんが施設等へ移る際に円滑に移行できるよう、介護施設やケアマネ等と連携を継続する。	<input type="checkbox"/>

※本計画について、計画目標達成年度は今年度末とし、達成されない場合は次年度以降も引き続き継続していくものとする。

職 種	分 担 内 容	達成状況	
		令和6年3月	令和7年3月
看護師	① 医師の事前指示に基づき、その範囲内で行う患者の病態に応じた薬剤の投与に関すること。 ② 医師の指示の下に行う静脈注射及び留置針によるルート確保に関すること。 ・ 静脈注射の安全実施に関する研修の開催 ・ 静脈注射の実施に関する看護手順の見直し ③ 入院中の患者に係る清潔保持方法等の療養生活全般について、医師の治療方針や患者の状態を踏まえての積極的対応に関すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 事前指示に基づき、薬剤投与等の実施を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> ivナース研修を行い、安全な静脈注射が実践できるよう取り組んだ。新たに5人登録できた。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
放射線技師	① 医師に対し、患者撮影終了時の所見により追加撮影や別モダリティでの撮影の提言について重症所見に絞る（継続）。 ② 透析患者の心胸郭比較測定を実施する（継続）。 ③ 画像診断報告書確認の補助を行う（報告書内容の確認、至急確認事例報告）。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての透析患者の心胸郭比較測定を実施、測定値の保存をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 既読・未読に関しては、医療安全管理室にて実施であった。至急確認を要する事例では担当医への連絡を行った。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
薬剤師	① 化学療法プロトコルのチェックに関すること。 ② 化学療法・緩和の患者モニタリングを実施すること。 ③ 病棟薬剤業務を推進し、積極的な処方提案を行う。 ④ 外来患者薬剤指導の実施。（検査前服用薬確認など） ⑤ 処方依頼をする日を決めて、医師の処方入力の手軽化を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 整形外科で実施。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
臨床検査技師	① 心臓超音波、腹部超音波検査において2人以上の術者を保持できる育成を行う。また、他部門超音波の育成に拡大していく ② 病理細胞診報告のチェックを行い迅速報告が行われているか確認する。 ③ 検査時間 患者待ち時間の削減に向け取り組む。	<input checked="" type="checkbox"/> 心臓超音波・腹部超音波の体制、育成継続 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの取り組み（結果のステラへの取り込みやクラス3a以上の結果報告時の電カル記事入力徹底、月毎の報告書確認と医療安全への報告による未読・既読のダブルチェックの徹底。）の継続実施実施している。適正化に向け解析継続実施を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 患者訪問を行いながら、喫食状況に合わせた食事内容の調整・変更を行っている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
管理栄養士	① 一般食について、医師の包括的指示に基づき、その範囲内で患者の病態に応じた食事内容の調整及び変更すること。 ② 特別治療食について、医師に対し患者の病態に応じた食事内容や形態を提案すること。 ③ 患者に対する栄養指導について、医師の包括的な指導を受けて、適切な実施時期を判断し実施すること。 ④ 経腸栄養療法を行う際に、医師に対し使用する経腸栄養剤の種類や変更等を提案すること。 ⑤ 低栄養や摂食不良の患者に対する食種や食事内容を提案すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 要請に応じ、実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
理学療法士 作業療法士	① 医師の要請に応じ、患者及び家族等に対する病状説明への同席に関すること。 ② リハビリテーション実施計画書等及び廃用症候群に係る評価表の作成補助に関すること。 ③ 365日体制で病棟リハビリテーションの実施に関すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 要請に応じ、実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。実施計画書は年400件程度。廃用症候群にかかる評価表は全例に対し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

1. 計画の目的

当院に勤務する看護職員について、他職種との役割分担及び勤務環境の改善事項を明らかにしながら、看護職員の負担軽減に資する計画を策定しようとするものである。このことにより、医師、看護師等の医療関係職の各職種が専門性を必要とする業務に専念できるとともに、当院における効率的な業務運営を図りながら、良質な医療サービスを継続的に提供しようとするものである。

2. 令和6年2月末現在の看護職員の勤務状況

- 病床規模： 122床 (稼働 122床)
- 職員数： 85人 (週32時間以上勤務する看護師及び准看護師)
- 平均勤務時間 週39.4時間
- 超過勤務時間 週0.6時間

3. 本計画に係る実施・評価体制

- ① 責任者の配置
看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関して、看護職員の勤務状況の把握及びその改善の必要性等について提言することを目的として、院内に責任者を配置する。
- ② 多職種からなる役割分担推進のための委員会の設置
看護職員の負担の軽減に資する計画をより実効あるものとするため、院内に多職種からなる役割分担推進のための委員会を設置し、計画の達成状況の評価や看護職員の勤務時間及び勤務状況の把握(超過勤務時間の時間管理の実施)、特定の個人に業務負担が集中しないよう配慮した勤務体系の策定、計画について職員への周知徹底を図る。当該委員会において、本計画に係る達成状況の評価等を実施する。

4. 負担軽減に資する計画

項目	取り組み内容	達成状況	
		令和6年3月	令和7年3月
(1) 看護補助者の業務内容の拡充	・看護補助者業務の理解と実践を行うための実務研修とe-ラーニングの実施。 ・看護の事務的業務の補助業務の委譲 ・検査手順説明用紙に沿った検査説明	<input checked="" type="checkbox"/> 実務研修会、e-ラーニングによる研修を実施。看護補助者が自分の役割を理解した上で業務できた。	<input type="checkbox"/>
(2) 看護補助者の勤務形態の多様化	・夜勤や早出、遅出等時差出勤の拡充を推進する。	<input checked="" type="checkbox"/> 12時間夜勤、早出、遅出など多様な勤務形態を導入しており、患者の見守りやケアの実施において、看護職員の負担軽減になっている。	<input type="checkbox"/>
(3) 看護補助者との業務分担の推進	・業務分担の検討・推進(継続) 業務内容の検討 ・看護補助者の人数増加	<input checked="" type="checkbox"/> 外来の環境整備、後片付け、物品補充、廃棄物の処理を委譲している。	<input type="checkbox"/>
(4) 退院(入院)支援担当者の配置	・退院調整看護師による退院調整の推進 ・入院時の基礎情報等の入力	<input checked="" type="checkbox"/> 退院支援看護師による他施設への退院調整がスムーズにできている。オンラインを活用した介護認定や施設入所等の調整も行えている。	<input type="checkbox"/>
(5) 夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理	・11時間以上の勤務間隔の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 業務間隔を11時間移譲確保することができた。	<input type="checkbox"/>
(6) 他職種への業務移管等			
ア 薬剤師	・全ての持参薬錠剤鑑別の実施により看護職員の負担軽減を図る。 ・病棟薬剤業務の推進により、看護師の薬剤関連業務の負担軽減を図る。 ・注射薬の配合チェックを実施する。 ・患者の持参薬の受取りを薬剤師が、直接行い、初回面談を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 持参薬は全て実施 <input checked="" type="checkbox"/> H30.6月から実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
イ 放射線技師	・医師に対し、患者撮影終了時の所見により追加撮影や別モダリティでの撮影の提言を行うことにより、患者動線を少なくすることで搬送と介助に付く看護職員の時間的負担の軽減を図る(継続) ・造影剤の定数配置により、看護師の動線短縮等の負担軽減を図る。 ・患者移送補助業務(継続) 以下の業務について看護師より要請があった場合および移送状況により自主的に行うことで看護師の患者移送に係る業務負担軽減に寄与する。 ①救急患者について、検査実施後に救急室までの移送を診療放射線技師が補助する。 ②介助を要する外来患者を検査後対象外来へ移送する(患者状態が安定している、診療放射線技師による移送が可能と判断出来る場合)	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線技術科でのCT造影剤を定数確保し看護職員の負担軽減を実施している。(放射線技術科内使用造影剤の9割以上) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
ウ 臨床検査技師	・外来採血管準備システムの安定稼働に対する後方支援の実施。障害時などの対応の共有	<input checked="" type="checkbox"/> 外来採血管準備システムのメンテナンス、病棟・外来への材料等の在庫管理継続実施中。採血管ロボ障害時における中処置での運用について看護科と共にシミュレーション研修実施済み。	<input type="checkbox"/>
臨床検査技師	・輸血検査のルールの共有・指導に関わる(輸血管理に関わる) ・検査の説明や検査結果値の説明など現状看護師が行っているものに関して検査技師ができるものを実施	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施中。 <input checked="" type="checkbox"/> 仕組みの構築など今後の課題として継続していく。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
エ 管理栄養士	・栄養指導予約に関して、管理栄養士ができるものを入力することで看護職員の負担軽減を図る。 ・経腸栄養療法を行う際に、医師への経腸栄養剤種類の選択や変更等の提案について、看護職員に対しても情報提供することにより看護職員の負担 ・食事オーダーのコメント等に関して、管理栄養士ができるものを入力することで看護職員の負担軽減を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施している。また、入力ミスがある場合は管理栄養士が修正することにより、軽減につながっている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
オ 理学療法士 作業療法士	・365日体制でリハビリテーションの病棟実施による看護職員の負担軽減を図る。 ・入院患者の患者移乗(トランスファー)介助方法の習得について、看護職員を対象とした勉強会を開催することにより、看護職員の負担軽減を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 適宜にトランスファー研修を病棟で実施。また3階病棟でADL維持向上等体制をとり専任理学療法士を配置しADL維持に努めている。	<input type="checkbox"/>

※本計画について、計画目標達成年度は今年度末とし、達成されない場合は次年度以降も引き続き継続していくものとする。